

## 2021年度 新人看護職員技術研修

新人看護職員技術研修として4月～7月で「注射」「採血と検体の取り扱い」「輸液ポンプ・シリンジポンプ」「膀胱留置カテーテル」「救命救急処置」「廃用症候群の予防・呼吸理学療法」と6項目の研修が終了しました。研修は、各部署の副看護師長の協力を得て、シリンジの取り扱いや滅菌手袋の装着など事前練習も取り入れています。演習は臨床に近い環境を設定して行い、経験学習モデルのサイクルを意識し、演習ごとにみなで振り返り、教訓を引き出し、改善点をふまえてつなげています。受講生からは「自分では気づけないことに気づき成長になる」「先輩が行っていた手技の根拠がわかった」「安全のためWチェック、6Rの確認、患者照合、施設基準の理解が必要」「自分の導線や物品配置、環境整備、患者さんへの声かけを考えられるようになった」などの声が聞かれました。演習を繰り返す中で受講生は個々の良い面やもっと良くなるにはどうしたらよいか自分の気づきを伝え合っていました。受講生は承認を得ることや自ら考えることで学びを深め研修中にどんどん成長していく姿が見られました。研修で見せる生き生きとした姿を部署で看護実践へ繋げられるようご支援をお願いいたします。



## キャリア支援室紹介

いつもあなたのおそばに  
♥ キャリア支援室 ♥



キャリア支援室は「いつもあなたのおそばに♥」をキャッチコピーに活動しています。様々な悩みや困りごとを一緒に考えていきたいと思っています。

4月から仲間入りした鎌田展子（のぶこ）です。どうぞよろしくお願ひいたします！

## コロナ関連病棟 新人看護職員座談会

コロナに携わる部署の新人看護職員に参加して頂き、コロナ病棟で働いた時の率直な思いや学びを語り合う座談会を開催しました。参加してくれたのは、2-2 古明地みのりさん、土谷佳那さん、4-1 原田風妃さん、高部葉菜さん、10-1 小笠原萌花さん、森綾香さん、10-2 中森清香さん、樋口直さんです。コロナ患者さんを見るとわかった時の率直な思いとして、

「驚きや戸惑い」  
「正直嫌だった」  
「感染への恐怖」  
「家族の心配や反対」  
「やってみたい気持ち」「本来の部署の業務や学習が遅れてしまうことへの心配」など様々な葛藤を抱きながらコロナに立ち向かった様子が伺えました。また、コロナに携わることで、「部署全員で一丸となっていたので心強かった」「応援に来てくれて同期も増えて歓喜した」「血糖測定など今まであまり機会がない看護技術が自立できた」「仕事をしているという感じがあった」等の語りもありました。また、状態が厳しい患者さんへの家族ケアや、長引くコロナ禍で気持ちをどう維持しているか、忙しい時の先輩への報告のタイミングなど日頃の悩みも共有できました。感想として「こんな機会はなかなかないので楽しかった」「状況は違ってもこの特殊な状況で入職した同期のみんなと話せてよかった」「またコロナの患者さんを見る時は2-2の2人が頑張っていることを思い出して頑張る」など皆さん笑顔で和やかな雰囲気では終了しました。



## 城石陽子 副看護部長からのご挨拶

4月から教育担当副部長に就任しました城石陽子です。院内研修、看護学実習、看護部研修委員会に関することを担当しています。研修を通して皆さんの気付きや、成長を支援できるよう努めていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

